



教育長 安間 英潮

次の100年の輝きへ

市制100周年という記念の節目を、学校、地域とともに祝い、地域のよさを発見し、先人の生き方に触れ、子どもたちに「ふるさと八王子」に対する愛着を一層深めることができました。この市制100周年は、大人も子どもも自らのアイデンティティを築くための絶好の機会となりました。

さて、市制100周年記念事業では、八王子市青少年対策地区委員会連絡会による「小・中学生作文コンテスト」や、「みんなで えがこう 八王子の未来」など、地域において子どもたちの健やかな成長を支える市民の皆様のご尽力により、多くの取組が行われました。これらの取組において、子どもたちは主役となり、自分の力を大いに発揮しておりました。また、市の事業である「ビジョンフォーラム」では、中学校の代表生徒がテーマについて、まずワークショップで、八王子がさらに魅力的になるために何ができるか、何が必要かを考え、真剣に議論しておりました。フォーラム当日は、ワークショップを踏まえた提言を行い、パネルディスカッションなどに参加し、専門家と対等に自分たちの意見を述べていました。その姿は、堂々としており、まさに次代を担う市民としての姿でした。議論の内容も、常識にとらわれない柔軟な発想が展開され、驚きを隠しきれませんでした。そして、ビジョンフォーラムで提言された次代を担う子どもたちの意見は、八王子市の市政にいかされていきます。

結びに、市制100周年の記念事業において子どもたちのよさを発揮させていただく機会を作っていただきました皆様方に、心より感謝申し上げます。